

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 伊藤(多)

山名	比良山系 釈迦岳	山行名	個人山行
ルート	登山口～涼峠～ヤケ山～釈迦岳～ヤケ山～涼峠～釈迦岳		
山行日	5月15日	天候	うす曇り
参加者	リーダー：伊藤 男性：木田、佐々木	サブリーダー：平尾 女性：玉井、和田	合計：6名

ルート概略図(略)	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
北小松 登山口	着	8:10	釈迦岳	着	12:00
	発	8:25		発	12:50
ヤケ山	着	9:55	ヤケ山	着	14:15
	発	10:05		着	14:25
ヤケオ山	着	11:10	北小松 登山口	着	16:00
	発	11:25		発	16:10

山行報告

例会予定の8日の天気が思わしくなく、参加者と相談の上、1週間後に個人山行として実施。幸い、全員が参加。晴れの予定だったが、うす曇り。おかげで暑さは幾分まし。橋を渡って登山道に。このコースに来るのは久しぶりだが、荒れてはいない。最初はそれほどきつくない上りに足取りも軽い。涼峠で、寒風峠への分岐を右に見てヤケ山に向かう。途中、平らな道もあり、みんな余裕の表情。道中、Hさんが木々の名前、見分け方など教えてくれて臨時の自然観察会に。向こうに見えるのが釈迦岳かな？この分なら、頂上に着いてもお昼には早過ぎるかも？などワイワイと。ヤケ山から何度かアップダウンを繰り返し、緑に染まる自然林を抜けると、眼下に広がる琵琶湖が眼に飛び込んでくる。しばらく眺めながら、あれが沖島、向こうに見えるのが伊吹山と教え合う。ところが、ここから長い上りになるとは…。ヤケオ山に辿り着いてからもなかなか先が見えない。ザラザラした急斜面を踏ん張って登るので足も疲れてくる。それでも、足元には咲き残った小さくて可憐なイワカガミやヤマツツジ、上にはベニドウダン、ミツバツツジ、そしてようやく見つけた一本のシロヤシオ！これを見たくて提案した例会なのに、何とこしかなかった。頂上はまだかという声には、「後少し！」という気休めの言葉で応じ、頑張って登り切ったのは丁度12時。頂上で出会った女性が、シロヤシオを見に来たけどないですねという意味で、「裏年ですね」と言ったのが象徴的。

帰りに楊梅(ヤマモモ)の滝を見に立ち寄ると、裸の男性たちが滝に打たれながら叫んでいる。私たちの姿を見て、急いで衣服を着け始めた。それを横目に少しだけ岩場を上って滝の全貌を眺める。水煙を上げながらごうごうと流れ落ちる景観は見物だった。

車に辿り着くとすぐにポツリと来た。オール70代のメンバーだったが、累積標高差1030m(yamap)を無事に登って下りてきました。シロヤシオはまたのお楽しみに。Kさんの車提供で駅から登山口までの歩行がカットされとても助かりました。(ヒヤリハットなし)

揃って 70 才代、絶景を愛でながら新緑の樹林帯を散策

佐々木

絶好の登山日和、年を忘れた 70 才代の男 3、女 3 のベテラン・アルピニストたちが北小松の登山口から急勾配の山道に挑戦。新緑が爽やか、眼下には広大な琵琶湖の水面、東に鈴鹿、北にリトル比良、西に京都北山を俯瞰。「あ〜、しんど」とつぶやきつつ、大自然との一体感に身を浸し足取りは軽い。

「らんまん」平尾博士の解説で植物の固有名詞を学習

道すがら「山友会のらんまん（牧野富太郎）」こと、平尾博士の懇切丁寧な解説に耳を傾ける。「世の中に雑草という草はない」との富太郎の言葉通り、人間同様、樹木にも草花にもそれぞれ微妙な違いがあり固有の名前がついている。受験生が単語カードで勉強するように、博士の自宅には花の写真と名前が壁一面に張り巡らされているとのこと、その努力に敬服。「認知症気味の受講生には『豚に真珠』かも」との心中の不安を隠しながら講義に熱が入る。

正面に見えるのはエセ山頂、伊藤 CL の「もうすぐですよ」には裏切られてばかり

涼峠、ヤケ山、ヤケオ山と進み、「前方に見えるのが目指す釈迦岳、もうすぐですよ」との伊藤 CL の甘美な言葉には半信半疑、それでももうひと踏ん張り歯を食いしばる。山の景色は食わせ物、ピークの後ろにまた別のピークが出現、折れそうになる心に活を入れなおす。シロヤシオに励まされ、無事広々とした山頂(1060m)に到達、ヤッター！バンザーイ！暑くて大汗をかくのではとの予想は外れ、ずっと曇り空、陽光はなく風もあり T シャツ姿では寒いほどだ。

壮大な雄滝は嬉しいサプライズ、滝壺で裸の男が 4 人、至福の時を過ごしている

下りには滋賀県随一の名瀑「楊梅の滝」に寄り道。滝の方角から「雄たけび」が聞こえてくる。滝は総落差 76m、岩場をこわごわよじ登り回り込むと、荒々しい岩壁を轟音をたてながら雄滝(40m)が流れ落ちている。こんな所でこんな壮大な景観に遭遇、まさに嬉しいサプライズ。雄たけびの主(ぬし)は国際的な 4 人組、人里離れた山中の滝壺で至福の時を過ごしている。思いがけない所で素っ裸の男たちを見て女性陣は目が点になる。

自分の庭のような比良を案内してくれた伊藤 CL、「らんまん博士」の平尾 SL、door to door で往復運転をしてくれたタフな木田 driver たちに深謝。「山っていいなあ」「山仲間はお天道様からのかけがえのない贈り物」とあらためて合掌。



釈迦岳 山頂



ベニドウダン (紅灯台)



ミツバツツジ



シロヤシオ(白八染)



シロヤシオ



ヤマツツジ



イワカガミ



チゴユリ



カマツカ (バラ科)



ウラジロノキ (バラ科)



楊梅の滝 (雄滝)



涼峠

